



岡田 聡 議員

地球温暖化対策の さらなる実行は？

町長

可能なものから 進めていく



林之峰(下市)のソーラー予定地

【岡田】温暖化による異常気象が各地で発生し、大きな被害を及ぼしている。対策として誰もがができることから実行していくことが大切で、再生可能エネルギーの活用促進などが急がれる。

太陽光発電設備などの普及促進のため、公共建物や遊休地、荒廃農地などを有効利用しては。

【町長】強度や防水の問題があり、学校以外では補助制度もない。困難と判断している。耕

作放棄地は再生事業に取り組む。

【岡田】民間力の活用は。

【町長】町有地の押平地内3.9haと下市地内1haを、太陽光発電設置の民間事業者に賃貸する。

【岡田】町民へさらなる

節電や省エネへの協力をお願いは。

【町長】機会をとらえ、意識の啓発に努める。

【岡田】校舎屋上への太陽光発電設置は。

【教育委員長】検討していない。

健康寿命を延ばすには？

町長

有効な事業を調査する

【岡田】町民が健康づくりに関心を持ち、メリットを感じられる施策が必要である。本人が楽しみながら取り組むことで、健康寿命を延ばし、厳しい国保会計の改善にもつながる。

【町長】健康づくりによりと分かつていても、行動に移せない人も多いので、動機づけになるように、助成制度を利用した健康マイレージ事業に取り組む。

【岡田】データヘルスの導入は。

【町長】国保加入者の検診・医療・介護データを分析し、より効果

的な生活習慣病の予防、重症化防止などの保健事業に取り組む。

【岡田】スポーツや軽い運動習慣の奨励は。

【町長】どんな生活習慣の奨励策が健康づくりへの行動に結びつくのか、調査・研究しながら、効果のある事業を行う。

※健康マイレージ制度
健診などを奨励するため受診した場合、特典が付与される制度

※データヘルス
診療と健診の電子データを活用した新しい健康管理システム



むきぱんだ